

微分積分学・同演習Bを受講される皆様へ

TA：横山俊一（九州大学大学院数理学府修士課程1年）

はじめに：この資料に書かれている内容および提出して頂いた宿題等を書いてあるコメントの文責はTA（横山）にあります。従って万一ここに誤り等が含まれていた場合も、講義をされている先生の責任ではありませんのでご注意ください。
授業内容に関する質問は講義をされている高山先生にお願い致します。また、TAの採点に不備があったり資料の誤りを見つけた方も先生にその旨をお伝え下さい。随時改善して参ります。

おひさしぶりです（再履の方、はじめまして）。前期に引き続き、後期も担当することになりました。どうぞよろしくお願ひします。

以下、TAが関係する事柄について書いておきますので、ご一読願ひます。

成績評価（平常点）について

- 皆さんの成績のうち2割（20点分）は平常点として、毎回の課題の提出状況を考慮して付けます。分かりやすいよう、採点方法を以下に書きますので参考にしてください。
 - － 20点を持ち点とした減点方式
 - － 期限内にきちんと提出し（多少間違っても）大体の流れが合っていれば減点なし。かなり大きな間違いが含まれている場合は1点減点とします。
 - － 期限内にきちんと提出したものの、どう読んで良いのか分からない・白紙が余りに目立つ等の答えは「再提出」を課します。この場合、次回の講義終了時まで提出して下さいれば1点減点とします。提出なき場合は2点減点とします。
 - － 期限に1週間（講義1コマ分）遅れた場合は2点減点、2週以上遅れた場合は3点減点です。
 - － 以上に従い、最終回に残った得点が平常点となります。

後期は、真面目に課題に取り組んでくださる方との差別化をはかりたいと思います。

- 前期では中間試験の傷の手当て（救済レポート）を行いました。後期はやりません。
- 皆さんの平常点は、講義最終回に紙面で（お一人お一人に）お知らせします。その際集計ミスがあった時のために、成績が確定するまでは毎回の宿題の答え及び中間試験の答えを必ず保管しておいてください。答えがないと訂正出来ない場合があります。

その他

- 宿題の用紙の下の部分には質問コーナーがあります。ここを積極的に使ってください。質問だけでなくいろいろな相談やコメントなど、そのほか色々とお待ちしております。また、皆さんの答案・ご意見等には出来る限りコメントを付けるつもりです。

特に、皆さんにとって有益だと思われる質問については、名前を伏せてこの補足資料で公開するかもしれませんので、ご了承ください。

- 宿題は頑張って自分自身のことばで書いてください。友達の答案を丸写ししたり少し加工して自分の答案にするのは自分にとって何のメリット也没有せん。

採点者からすれば、多少手を加えて分からなくしたつもりでも 50 名余りの答案を通し読みしていると露骨に分かります。その答案が合っていればまだ良いですが、親の答案が間違っていて共倒れしているケースも少なくないので、ご注意ください。

- 前期と同様、丸写しを避けるため模範解答は作りません。かわりに、解き方のヒントや略解（証明の道すじなど）をこの資料で解説します。分からない箇所が見つかったら先生に質問したり、宿題の質問コーナーを活用しましょう。

それでは、後期もよろしくお願ひします